

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレサンス豊中市庄内幸町二	階数	地上11F
建設地	豊中市庄内幸町	構造	RC造
用途地域	市街化区域、指定なし	平均居住人員	89人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,605時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2023年10月27日
敷地面積	949 m ²	作成者	株式会社アイ・エー・オー田中設計 田中 信明
建築面積	263 m ²	確認日	2023年10月27日
延床面積	2,146 m ²	確認者	株式会社アイ・エー・オー田中設計 田中 康雄



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	入居者の快適性・利便性に配慮し、住戸内は開口部を広く取り、駐車場・駐輪場を必要数確保する。	その他 特になし
Q1 室内環境	住戸の窓開口を大きく取り、自然換気性能の確保を図る。室内の建材は全てF☆☆☆☆ランクの物を採用し、空気質環境の向上に配慮する。住戸内は、マルチファンクションライト採用により、時	Q2 サービス性能 空調・給排水配管には、更新間隔の長い物を採用。高度情報通信設備対応。
LR1 エネルギー	特になし	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に必要な駐車場を確保しつつ、可能な限り緑地計画した。
	LR2 資源・マテリアル リサイクル材の利用や、部材の分別を容易にし再利用可能性向上に配慮する。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐輪場・駐車場の確保し、敷地内通路を配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	(仮称)プレサンス豊中市庄内幸町二丁目新築工事						
	建設地	豊中市庄内幸町						
	用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						3	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				2.9	3	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0	3	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.9	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				2.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項	特になし						